



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和4年6月15日 No. 6
園長 安藤賢治

～魔法の言葉～ さしすせそ

■目にとまった論説を 紹介します。

・・・おばあちゃんが掛け続けてくれたという「魔法の言葉」。それは「〇〇（名前）は良くなってきたね」「〇〇、前より良くなってきた」というものだ。

他の誰かと比べるのではない。

その子が前よりも成長していることを褒め、しかもそれがまだ途上で、この先もっと伸びるんだよ、という温かいまなざしを感じる。

(内外教育 第 6530 号より 下線加筆)



ひ) 幼児体育<鉄棒>

◎ 本当に「魔法の言葉」があれば！ と思うのですが、目の前の状況は、その時その時違って、子供の心も違います。忘れていけないのは、『温かいまなざし=大切にすること』を忘れずに、子供と向き合うことです。“それぞれの子育て”ですね。



■幼稚園も“夏バージョン”です。

- ・テント3張
 - ・ミスト2基
 - ・組立プール
- 先週、“準備”しているとき・・・

「園長先生、何やってるの？」

「何だと思う？」（・・・安易に答えない）

「～～」

「そう、よくわかったねえ！ すごい！！」

(その時)「手伝いたい！」の声がありました。

・・・これは、チャンス！・・・

早速、手伝ってもらうことにしました。

➤その“やる気”が嬉しかったし、力を出しきる姿を見て“頼もしい”と感じました。

* * *



○ 我が子を育てる“言葉のヒント”として、「こんな言葉を使ってみたらどうでしょうか？」

さ さすが！
し 知らなかった！
す すごい！
せ センスいいっ！
そ そうだったんだ！



ぜひ、実践を

<さ・し・す・せ・そ>

*大人でも言われて嬉しい言葉ではないでしょうか。

<お知らせ>

- ・羽島市特別支援教育助成会
(普通会員加入:会費協力)
保護者・職員 48名
会費 37,600円
事務局に納入しました。

・・・ご協力に感謝します。

・園庭小屋のDIY

応募:7名(順次、手がける予定です)